原爆ドーム

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、2002 年 4 月 20 日、俺は原爆ドームの前にいる
　地上 600m 上、20 万人の命が失われ、街は廃墟と化した

　相生橋を渡るとき　元安川は緑にゆがんでた
　写真を撮る人　絵を描く少年　ギターを弾く 2 人組みを見た

　WOW WOW 広島　WOW WOW 広島　俺はここで何を感じればいい
　WOW WOW 広島　WOW WOW 広島　俺はここで何を感じればいい

２、昔の少年達が作った千羽鶴　これから戦争なく平和でありますように
　綺麗にかられた芝生の上　平和を願うハト達の群れ

　核兵器をなくし　戦争をしないこと
　平和への歩みは　それから

　WOW WOW 広島　WOW WOW 広島　俺はここで何を感じればいい
　WOW WOW 広島　WOW WOW 広島　俺はここで何を感じればいい

３、俺は寂しげな音楽の中　平和記念博物館の中にいる
　1945 年 8 月 6 日　広島に爆弾が落ちた

　飛行機エノラゲイが　広島の上空に来た
　俺は展示物の　8 時 15 分止まった時計をずっと見ていた

　WOW WOW 広島　WOW WOW 広島　俺はここで何を感じればいい
　WOW WOW 広島　WOW WOW 広島　俺はここで何を感じればいい

　平和 平和 平和 平和...

かげらう

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

WOO- WOO- WOO- WOO- WOO- WOO-...

1、赤く立ち上る夏の陽に　懐かしき校舎揺れている
遠きあなたとの思い出に　心哀しくて目を閉じた

Ah-
もう 君は 校舎（ここ）には　帰らないんだろう
Ah-
もう 君は　僕のこと　忘れてるんだろう

WOO- WOO- WOO- WOO- WOO- WOO-...

2、あれから５年以上も経ったのに　眠れない夜に現れる
あの顔　あの優しさ　全部覚えているけれど
あの声だけがただずっと　思い出せなくて

Ah-
また 僕は 校舎（ここ）へと　帰ってくるんだろう
Ah-
もう 僕は 君のこと　忘れられないよ

屋上でしょっちゅう話してた　内容はほとんど忘れたけど
その時はとにかく幸せだった　その時はとにかく幸せだった

Ah-
もう 君は 校舎（ここ）には　帰らないんだろう
Ah-
もう 君は僕のこと　忘れてるんだろう
Ah-
また 僕は校舎（ここ）へと　帰ってくるだろう
Ah-
絶対 僕は 君のこと　忘れられないよ

WOO- WOO- WOO- WOO- WOO- WOO-...

愛犬リッツに捧げる唄　～本当にありがとう～

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、僕は君（リッツ）を　なでてあげた
そしたらシッポを 振ってくれた

最初　家（うち）に来たとき
遠吠えを上げていた
たくさんの 思い出を ありがとう

ああ ほんとう かわいくて 立派で　大切だった
今 どこかの世界で 見守ってくれてるかな

2、やがて　お嫁さん アーコがやってきた
2 匹はいつも 吠え合っていた

そして夫婦の間に
たくさんの子供が産まれた
強い　父親になって 威厳をはなった

いつか 子供達は それぞれの家に 貰われていった
すると 仲のいい同士で 今までの生活（くらし）に戻った

たくさんの想い出で　愛を育みあった
ありがとう　楽しかった 本当にありがとう
リッツ！！

ヘブン

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、時の流れに身を任せながら　生きてゆくその心はヘブン
鳥のさえずり君に届くなら　超えるその思い出はヘブン

俺が愛するお前は　いつまでも輝いて
どこまでも　追いかける　追いすがる　風の中へ

２、「変わらない毎日」と繰り返す　今は別にそれどころではない
志半ばでもし倒れようと　生きてきたその証（こと）はヘブン

君が信じる僕なら　賢明に生きるだろう
君を幸せにしたいから　諦めず夢見るだろう

ラララララララララララ　ラララララララララ
いつまでも　問いかける　この声を　届けたいから

１７歳

作詞　岡本　悠

１、１７歳（じゅうしち）　この歳　俺の中で
一番大きな 歳だったみたいだ
わがままばかりを 振り回して
それでも 自分が辛かった時に

いろんな人に支えられ　俺は生きてきたこと

親には 心底迷惑をかけ
今年は 本当に散々だったけど
家出して　翌朝帰った時
机の手紙に 俺は涙零した

人を愛するその意味を 俺は感動で受けました

２、疲れて 半分 くたびれてた時
友人 あなたは 愚痴を聞いてくれたね
いろんな 言葉をもらいながら
俺は 自分を 見ることができました

夢はなくても 今がある それがわかった

姪と甥　～産まれたばかりの赤ちゃん～

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、　春の暖かい日 自分の知り合いに 一人の女の子が産まれた

とても小さな身体で 瞳も輝いて これが赤ちゃんなのだと感じた

ああ かわいいな かわいいな

僕は 優しく君を見つめた

その笑顔は 僕にとって　大切な宝物なのさ

2、　そして 年月が経ち 君はだいぶ　大人に変わっていった…

ああ　かわいいな　かわいいな

僕は 生まれてきて ほんとに良かった

ああ　嬉しいな　嬉しいな

生まれてきてくれて　ほんとにありがとう

ずっと　愛している

うんこの唄

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

「君 うんちの臭いがするよ」

うんこ うんこ うんこ うんこ うんこ
うんこ うんこ うんこ うんこ うんこ

「うんこ味のカレーと カレー味のうんこはどっちがいい？」

うんこ うんこ うんこ うんこ うんこ
うんこ うんこ うんこ うんこ うんこ

「うんこ ゲロ ゲボ」

うんこ うんこ うんこ うんこ うんこ
うんこ うんこ うんこ うんこ うんこ

「まだ 太ももの辺りに うんこのシミがついているよ！」

うんこ うんこ うんこ うんこ うんこ
うんこ うんこ うんこ うんこ うんこ

「あいつは臭い うんこの臭いがする」

うんこ うんこ うんこ うんこ うんこ
うんこ うんこ うんこ うんこ うんこ

「あっこちゃん それ振り回すモンじゃないよ」

来いよ 来いよ 来いよ うんこ うんこ
来いようんこ 来いようんこ 来いようんこ うんこ うんこ

うんこ　ゲロ　ゲボ　うんこ　ゲロ　ゲボ

うんこ　来いよ　うんこ　来いよ

うんこ　うんこ　うんこ　うんこ　うんこ　うんこ

うんこ　うんこ　うんこ　うんこ　うんこ　うんこ

言っているんだよ

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、静かな妖精たちが住む　この木陰の中では
涼しく清らかな　青年の声がする
髪型もかっこよくて　顔立ちも甘いマスク（かお）で
切り株の上で　ブルースハープを吹く

なんて君は素晴らしいんだ　僕は君になりたい
僕はいろんな人になりたい

だから、言ってるんだよ　いつまでも　言ってるんだよ
激しく争う愛の中
お前に　言ってるんだよ　どこまでも　言ってるんだよ
悲しむお前の涙に　悲しむお前の心に

２、優しいあなたの言葉　僕を励ましてくれる
喫茶店でも寄ろうかな　誰か会いにきて
雨上がりの空　晴れた景色をただ見ている
堂々とステージで　唄ったあの曲

僕はきっとまだ限界じゃない　お星さまに願う
僕はいろんなことを　やりたい

そして　欲しい物は　プライベートスタジオ
自分だけの音楽の世界
誰かに届かなくても　１人きりで終わっても
大声で叫び散らしたい　カラオケでは違うから

自分の詩を書きたい　スタジオはないとしても
アカペラでもかまわないから
アルバムを作りたい　こんな小さな部屋でも
頭の中で作るよ　いろんな音楽を書きたい

Lie（ライ）

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、言葉より早めて　oh－　夢になるかも
聴こえるのは全て　僕の　欲しい物だけ

Lie lie lie lie lie la lie…

２、信号が変わった　さあ青になるわよ
出来レースでごめんね　それは決まっていたの

大好きだから　歌う　プロレスは　楽しい
そんな感覚さえ　失いそうになる

３、割れんばかりの拍手　そうここはステージ
新しいステージ　そう踏み出してみよう

約束だから言った　「やります」と言った
そんな度胸さえ　今じゃもうない

４、どうでもいい歌　なんかそんな気がする
繋ぎ役なんです　きっと誰も聴かない

ちゃんと詩を書くほど　たいそうでもないです
でも最後の言葉は　今日はお疲れ様です
Lie lie lie lie lie la lie…
頑張って疲れました

ワニワニ、パニックス、２

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、大きな街を見ながら　道を歩く
楽しいことなんて　本当にもうありはしない
人間と触れ合うことかな　トラブルが起こりそう
何かをクリアすることかな　超えていくことかな

本当に夢があるなら　退屈などないはずだけど
俺がやってることなんて　まるで事務事みたい

ワニワニワニワニ輪　ウェニウェニウェニウェニウェ
ワニワニワニワニ輪　WOW WOW
ワニワニワニワニ輪　ウェニウェニウェニウェニウェ
ワニワニワニワニ輪　WOW WOW WOW

２、不思議な旅に出たんだよ　夢の中の話で
どうしたら人生っていったい　楽しくなるかの講義で
多分 大きなことが起きない限り　変わっていかないらしい
もう２度と明るい歌も　作れない気がするし

向き合うのも無意味で　目標達成も辛い
俺が生きていること全ては　シェア感がないから

ワニワニワニワニ輪　ウェニウェニウェニウェニウェ
ワニワニワニワニ輪　WOW WOW
ワニワニワニワニ輪　ウェニウェニウェニウェニウェ
ワニワニワニワニ輪　WOW WOW

ワニワニワニワニ輪　ウェニウェニウェニウェニウェ
ワニワニワニワニ輪　WOW WOW
ワニワニワニワニ輪　ウェニウェニウェニウェニウェ
ワニワニワニワニ輪　WOW WOW WOW

臆病者

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、顔をマスクで隠した男　風邪が原因じゃない
自分の緊張した表情を　見抜かれない為
本当はサングラスをかけたいけど　メガネをかけているから
サングラスにマスクでも　逃げていると言われてもいい

過去のことは　どうでもいい　君に伝えたいのは
シャイな心に　隠しておくよ

愛してたのに　愛してたこと　伝えられなくて
ああ　弱くなって　消えてゆく　WOW WOW

辛かったのに　辛かったこと　伝えられなくて
ああ　怖くなって　逃げてゆく

２、逃げて逃げ回っている男　40 歳も近い
若い笑いに触れているのは　心地が良いものだ
でも 皆も本気なんだろう　その上での仲間で
だけど 俺にはいい加減な言葉は　必要ないけれど

１人勝手に　死んでゆくのは　俺が決めることじゃない
俺がこうして生きているのは　神が決めた

信じてたのに　信じてたこと　叶えられなくて
ああ　脆くなって　壊れてく　WOW WOW
許されたのに　許されたこと　認めたくなくて
ああ 怖くなって　逃げてゆく
ああ 怖くなって　死んでゆく

陽気な午後

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

風がかわいて　街が弾む
鳥のさえずりが　聴こえてくる頃
思い出してごらん　僕のことを
ほら　静かに見える　ヘブン

１、今日は早起きしたから　ファミリーレストランに
朝食を食べに行こうと　出発した
そしたらいつものかわいい　君が働いていて
最後に店を出る時に　顔を見せてくれた

僕を幸せにしてくれる　優しいほほえみ
楽しい１日が　始まろうとしてる

テレビを見ながら　馬鹿笑い
ツボにはまって　笑ってばかりいる

本当のことなんて　しなくていい
ふざけていたい　気分

2、コーヒーを飲みながら　詩を考える
恋愛の曲なんて　浮かびもしない
ファミレスのあなたなら　題材になってくれる
勝手にごめんね　でも素敵な女性（ひと）

体重は増える　大きめの服を買う
スポーツ観戦は　ぎゅうぎゅう詰めだよ

優しい愛がこだまする夏

愛ははぐれながら　時間を謳歌する

夢はいつでも　ただひとつ

笑う笑顔を　見ていたい

世界中を　旅してみたい

頓智（とんち）～ラップ～

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、生きることから目を逸らさず　2人の生き方ジュースと並ぶ
空き缶のような生活の中　こんなに君を愛している
30を過ぎても恋をしない　気づかぬあなたは素通りしてる
こんなに顔はかわいいのに　僕に魅力がないだけだろう

人生って本当に楽しい物かな　片っ端から全てこなさなきゃな
悪夢を見ないようにするには　規則正しい生活が大事だな

2、俺は本当に孤独になるのか　昔のアルバム『故人』と書いた
滅びる街豊かに　ところで俺の「夢」ってなんだ？
誰からも評価されることもなく　誰からも相手にされることもなく
作品作っても虚しいなら　人の輪の中にでも入るか

作詞って作品を作ることだよね　エネルギーがいることだよね
できれば楽をしたいよね　でも夜更かしはやめておこうね

３、本を読んでも捗らない　音楽のアルバム作らなきゃ
悩みが作品になってる　俺はそのことが気に食わない
だけど もし完成したら　少しは喜べるのだろう
誰も見てはいないだろうが　神様だけは見てくれる

自分の人生がプロレスだけなら　どんなに楽なことだろう
つい音楽聴いただけで　作曲したくてたまらない
ゾンビだろうがデーモンだろうが　そんなことは卒業した
やるからには作り上げる　重い腰を上げて作業に当たる

例えこの作品が完成しても　また次を作ることになるだろう
カラクリがわかってきたよ　神様にはかなわないことも

儚い物語

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 Last night さよなら　君の話を聞けて嬉しかった
思い出などとっくに消えちまった　何処へ歩き続けるんだ
Last song　いつまでも　二人で気がすむまで歌いながら
互いに見つめ合って笑いながら　街の風を感じている

あの日からわかっていた　きっと離れてゆくこと
でも 僕は好きだから　離れたくないから

儚いゆめと みじかい夢で　涙がこぼれて消えてゆく　wow
新たな愛と　心の叫びが　世界を埋め尽くす
体中何かがこみあげる　さよなら愛の天使

2、 ever since もういいさ　新しい暮らしを始めよう
その昔 孤独には充分に慣れて　生活していたから

こころから詰め寄ってく　はなびらと消え去ってく

この恋が　僕を連れて 何を描き出すのか

すがすがしいよ　切ないけれど　新しい日々が始まるのさ
割り切れるのは　少しだけれど経験値のおかげ
恋人追うのも素敵だけど　今は夢を追いたい…

見つけたのさ　大きなモノが　今は遠すぎて届かないけど
そのためには　どんなことを　しなくちゃいけないの
哀しい言葉に　自信が燃える　戦え　炎の戦士

大阪～京都の旅（２７歳頃）

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 大阪にやってきた　東京は出発して　凍えるような寒さだった　３月のこと
俺はそれでも　春用の新しいジャケットをおろして
寒くてもそれを着て　女性の友達に見せたかった

電車内の中にさえ入ってしまえば　耐えられるような寒さだった
窓際で水玉が斜めに流れている　水玉が横に流れる水族館にいるようだ

新幹線から山が見えた　俺もいつか登るのだろうか
でっかい山に　大きな霧がかかっていた
鬼のように火山が噴き出している　無事　新大阪についた

2、 待ち合わせをしていた　ミャンマー人の女性の友達と
その後　合流した　友達は家で寝るから
自分はホテルに泊まることになっていた　ホテルについて荷物をあずけて出発した

少し疲れていたが　せっかく来たということで
南京町に　連れていってもらった

次にマッサージ屋に行った　新幹線や歩き
いろいろなところを回ったので　限界で疲れていた
足つぼと全身マッサージを　やってもらった
極楽だった

最後に２人で夕食ということで　大阪のタコ焼き屋さんに入った

大阪の 15 階から景色を見てると　いろんな人が歩いている
ミャンマーの 19 階から見ていた弱気な俺とは違って
強くなっているな　少し疲れているけどな

3、 翌日 今日は朝 7 時に起きて　ホテルの食事を食べた
コーヒーをそこで一杯飲み　またコンビニで 2 本 BLACK を買った

今日は日中から合流してから　大阪から京都まで電車に乗った
京都の伊勢丹のスパゲッティ屋で飯を食い　デザートにティラミスを頼んだ

清水寺に行くのに　バスを待っていたが　遅いし寒いしでタクシーを使った
そして上り坂が待っていた　いろんな店が左右に立ち並んでいた

4、 いろんなところで写真をとったりして　インスタントカメラも空になってしまった
父には茶瓶を母にはハンカチを　プレゼントに買った
だって、何よりまずクッキーを 5 個自分にくれたから
恩を返したかった Uh－　Uh－
Uh－

舞妓さんとも写真を撮った　帰りもタクシーに乗った
君とずっといたい気分だった　またいつでも会えるし電話しようと言って
コーヒー屋を出た　最後は見えなくなるまで手を振ってくれた
俺のためにありがとう　いざ東京に帰る